

地域	東京都 港区	認定日	平成24年2月3日	通巻番号	3 - 23 - 112
----	--------	-----	-----------	------	--------------

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

沼津漁港水揚げ「活〆生ゴマサバ」のブランド構築と普及事業

これまで活〆として流通していなかった沼津漁港水揚げのゴマサバを「活〆生ゴマサバ」として刺身等にて首都圏・地元消費者に提供し、沼津産「活〆生ゴマサバ」のブランド構築を図る。

➤ 連携体

農林漁業者

JF我入道(協同組合(他に分類されないもの))

一本釣りノウハウ等による、ゴマサバに傷をつけずストレスを与えない漁獲方法の開発と、ゴマサバ根付きの魚場開発を行なう。

中小企業者

ヘンリーブロス(株)(飲食店)

水槽開発ノウハウ等による、ゴマサバ専用「特殊陸上水槽」の開発と、メニュー開発ノウハウ等により、沼津観光客や東京首都圏の消費者に活〆生ゴマサバを提供する。

連携参加者

沼津魚市場(株)(飲食料品卸売業)

特殊陸上水槽の設置場所の提供と、沼津地域でのブランド構築や販路拡大の協力を行なう。

サポート機関等

西武信用金庫、(株)コンサラート、(独)中小企業基盤整備機構関東支部

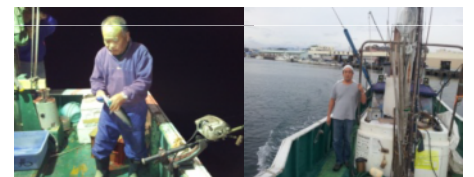
➤ 連携の経緯

沼津港で水揚げされるゴマサバを消費者に提供することを模索していたヘンリーブロス(株)と水揚げ量が多いゴマサバを利益のあがる商品として流通させ、収益性の改善・向上させたいJF我入道の思いが一致し、当事業の実施を決意するに至った。

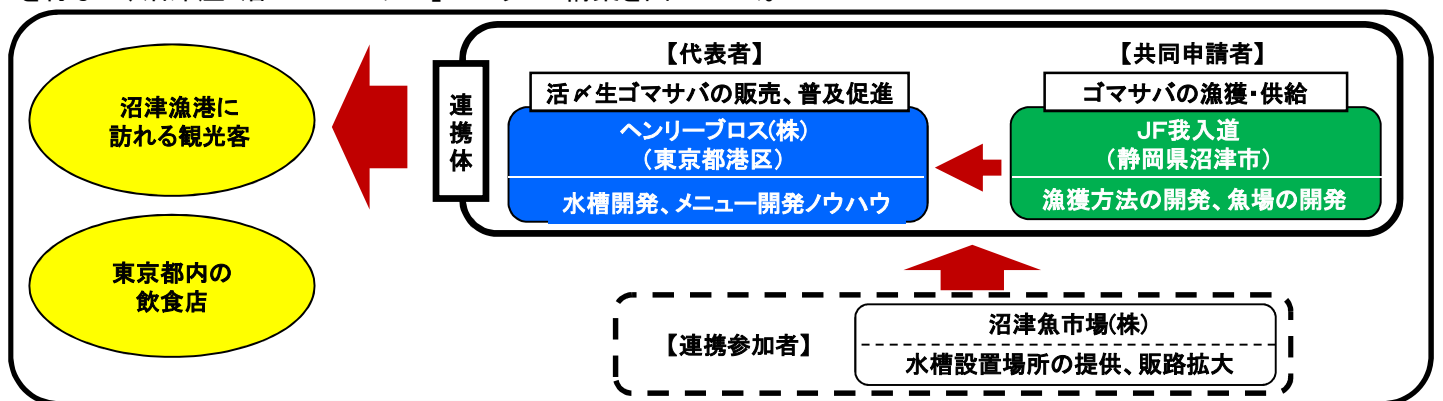


➤ 連携に当たっての課題や工夫等

ゴマサバを活〆で活用するためには、漁獲から出荷するまで、特殊水槽の中で生かしたままストレスを与えない管理などが必要がある。漁獲したゴマサバを漁船で生きたまま沼津魚市場まで運搬するための工夫や、船内水槽開発を連携して取り組んでいくことで、これまで活〆として流通していなかったゴマサバを沼津産「活〆生ゴマサバ」として流通させ、消費者に提供する。



また、沼津周辺地域での啓蒙活動、販売店舗やマスメディアを活用したPRなどを行ない、沼津産「活〆生ゴマサバ」のブランド構築を図っていく。



➤ 連携による効果

農林漁業者

3年で2,890万円の売上高増加、安定的な収益確保による経営安定

これまで活〆として流通していなかった沼津港水揚げの活〆生ゴマサバを販売することによる経営安定が期待できる。

中小企業者

4年で4,750万円の売上高増加、収益性の向上

希少価値がある活〆生ゴマサバの提供、ブランド構築による認知度向上で収益の増加が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：ヘンリーブロス株式会社 所在地：東京都港区高輪1-2-16 フラットウェル高輪4F
 TEL：03-5793-1238 FAX：03-3443-8231
 E-mail：c.ejima@heb.jp ホームページ：http://heb.jp/index.html